

# ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

## 第36回定例会 (令和5年12月定例会)

第35回臨時会・第36回定例会・第37回臨時会 … 2	所管事務調査 …………… 13
一般質問 (5人) …………… 5	議会4年間の主な出来事 …… 14
県外行政調査研修 …………… 10	議員活動報告・編集後記 …… 16

議会広報  
令和6年1月  
第50号

令和6年2月28日

第17期五戸町議会議員任期満了



第17期最後の定例会に臨む



### 関連記事

12～13P に第17期五戸町議会4年間の主な出来事を掲載

# 第35回 令和5年10月 臨時会

10月23日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

## 町長提出案件

### 事業の施行 1件

#### ① 土地改良事業の施行について

##### 【内容】

- 令和5年9月21日から22日の大雨で被害を受けた農業用施設を、町が事業主体となり災害復旧事業を行うもの
- 施行箇所は、北田ノ沢、下平、前平、苗代沢、外大窪の水路・道路



雨で土砂が崩れ、農業用水路が埋もれてしまう等の被害がありました。

#### 審議の結果

#### 全員賛成で可決

#### 令和5年度補正予算 1件

#### ① 一般会計補正予算 (第4号)

#### 補正額(増額)

1億9922万5千円

#### 【主な内容】

・ 予算総額(補正後)  
103億763万円

・ 産直施設実施設計業務委託料  
1435万4千円

・ 青森県子ども子育て世帯応援金  
4020万円

・ 農家支援持続化給付金  
5750万円

・ 道路環境整備業務委託料  
5175万円

・ プレミアム商品券発行事業補助金  
1627万5千円



商品券の使用有効期限は2月29日です。ご購入された方は使い忘れにご注意ください。

#### 審議の結果

#### 全員賛成で可決

## 町長提出案件

### 報告 2件

#### ① 役場職員駐車場で発生した車両物損事故の損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

##### 損害賠償額

11万2001円

#### (町過失割合100%)

#### ② 役場職員駐車場で発生した車両物損事故の損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定

##### 損害賠償額

12万7899円

#### (町過失割合100%)

(報告は採決しません)

# 第36回 令和5年12月 定例会

12月7日から12日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 24件			
原案可決	同意	承認	認定
24件	0件	0件	0件

## 指定管理者の指定 4件

管理を行わせる施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定の期間
① 豊間内地区コミュニティセンター	豊間内地区コミュニティセンター管理運営委員会	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで
② 五戸町保健福祉センター	(福)五戸町社会福祉協議会	令和6年4月1日から 令和9年3月31日まで
③ 五戸町社会福祉センター	(福)五戸町社会福祉協議会	
④ ごのへ郷土館	ごのへ郷土館管理運営委員会	

#### 審議の結果

#### 全員賛成で可決

**条例の制定 2件**

**①五戸町簡易水道事業の設置等に関する条例**

【内容】

・簡易水道事業に地方公営企業法の規定の一部を適用するため制定するもの

**②五戸町下水道事業の設置等に関する条例**

【内容】

・下水道事業に地方公営企業法の規定の一部を適用するため制定するもの

**審議の結果**

**全員賛成で可決**

**条例の一部改正 7件**

**①五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正**

正

【内容】

・五戸町議会議員の期末手当の支給割合を改めるもの

**②五戸町町長等の給与に関する条例の一部改正**

【内容】

・町長等の期末手当の支給割合を改めるもの

**③五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正**

【内容】

・特別参事の期末手当の支給割合を改めるもの

**④五戸町職員の給与に関する条例の一部改正**

【内容】

・令和5年10月6日付けの青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、職員の給料表及び期末・勤勉手当の支給割合を改めるもの

**⑤五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正**

【内容】

・家畜伝染病に係る防疫作業のうち、心身に著しい負担を与えると認められるものに従事した場合に支給する、感染症等防疫作業手当の支給額を一部引き上げるもの

**⑥五戸町社会福祉センター条例の一部改正**

【内容】

・五戸町社会福祉センターの浴場運営終了に伴い所要の改正を行うもの

**⑦五戸町国民健康保険税条例の一部改正**

【内容】

・全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部改正に伴い、出産被保険者の産前産後期間における国民健康保険税の所得割額及び被保険者均等割額の軽減措置が講じられることとなったことから、所要の改正を行うもの



**審議の結果**

**全員賛成で可決**

**令和5年度補正予算 11件**

**①一般会計補正予算(第5号)**

・補正額(増額)  
1億6223万5千円  
・予算総額(補正後)  
104億6986万5千円

【主な内容】

・企業立地推進条例奨励補助金  
2256万9千円

・住民基本台帳システム改修業務委託料  
614万8千円

・障がい者自立支援給付費  
3600万円

・倉石温泉改修工事費  
1200万円

・障がい児通所給付費  
300万円

・乳幼児医療費給付費  
420万円

・ふれあい市ごへの改修工事費  
400万円

・畑地化促進事業費補助金  
220万円

・歴史みらいパーク指定管理料  
661万7千円

・社会体育施設指定管理料  
599万2千円

・管内小学校施設改修工事費  
318万4千円



©東京ハイジ/五戸町

**②後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)**

・補正額(増額)  
1080万8千円

・予算総額(補正後)  
5億974万円

【主な内容】  
・一般会計繰出金  
354万6千円

・後期高齢者医療保険料負担金  
718万1千円

・補正額(減額)  
△55万9千円

・予算総額  
20億7954万7千円

【主な内容】  
・一般職給  
△132万4千円

・結核精神医療費特調申請支援業務委託料  
68万4千円

**④五戸町介護保険特別会計補正予算(第3号)**

・補正額(増額)  
4094万7千円

・予算総額  
24億6779万円

【主な内容】  
・施設介護サービス給付費  
1700万円

・過年度分返還金  
1983万6千円

**⑤下水道事業特別会計補正予算(第2号)**

・補正額(増額)  
192万8千円

・予算総額  
3億7692万7千円

**⑥ 農業集落排水処理施設  
事業特別会計補正予算  
(第1号)**

・補正額(減額)  
△97万5千円

・予算総額  
1億4542万8千円

**【主な内容】**

・消費税及び地方消費税  
△97万5千円

**⑦ 浄化槽事業特別会計補  
正予算(第1号)**

・補正額(増額)  
5万円

・予算総額  
5053万6千円

**【主な内容】**

・一般職給  
2万6千円

**⑧ 簡易水道事業特別会計  
補正予算(第2号)**

・補正額(減額)  
△72万8千円

・予算総額  
1億623万7千円

**【主な内容】**

・一般職給  
2万7千円

・消費税及び地方消費税  
△81万1千円

**⑨ 住宅用地造成事業等特  
別会計補正予算  
(第1号)**

・補正額(増額)  
12万2千円

・予算総額  
904万5千円

**【主な内容】**

・一般会計繰出金  
12万2千円

**⑩ ケーブルテレビ事業特  
別会計補正予算  
(第2号)**

・補正額(増額)  
956万7千円

・予算総額  
5282万7千円

**【主な内容】**

・ケーブルテレビ放送設  
備交換工事費  
921万5千円

・ケーブルテレビ事業基  
金積立金  
35万2千円

**⑪ 病院事業会計補正予算  
(第2号)**

○収益的収入  
5959万1千円減の  
19億2732万円

○収益的支出  
1億6249万7千円減の  
25億6822万4千円

・外来収益の減によるもの

○収益的支出

1億6249万7千円減の  
25億6822万4千円

**【主な内容】**

・人事異動等に伴う給与  
と感染症防疫作業手当  
に係る給与費の減額に  
よるもの

○資本的支出

43万8千円増の  
6億4908万4千円

**【主な内容】**

・健診センター備品費の  
追加によるもの

**審議の結果**

全員賛成で可決

**陳情 1件**

① 倉石土地改良区排水路  
水害の災害復旧と今後  
の復旧基準の策定を求  
める陳情

・経済常任委員会へ付託

・継続審査

・常任委員会の審査結果

・継続審査

## 第37回 令和5年12月 臨時会

12月27日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

**町長提出案件**

工事請負契約の一部変更 1件

**① 倉石温泉改修工事**

**【内容】**

・一部設計内容の変更が生じ、契約額を改めるもの

・変更後の契約額

1億1245万6300円  
(1450万1300円の増)

**審議の結果**

全員賛成で可決

令和5年度補正予算 1件

**① 一般会計補正予算 (第6号)**

・補正額(増額)

2億6153万7千円

・予算総額(補正後)  
107億3140万2千円

**【主な内容】**

・ふれあい市ごのへ改修  
工事費  
268万4千円

・物価高騰対策支援給付  
金  
7500万円

・住民税非課税世帯等物  
価高騰支援臨時給付金  
1億7500万円



物価高騰対策支援金を世帯へ給付するもの  
非課税世帯へ7万円、課税世帯へ1万5千円

**審議の結果**

全員賛成で可決

**お詫びと訂正**

議会だより第49号  
8ページに掲載の『固  
定資産評価審査委員会  
委員 石田弘文氏』に  
ついて、表記の誤り  
がございました。  
ご迷惑をおかけし  
たことをお詫び申し  
上げ、次のおり訂  
正いたします。

【新任】

【再任】

# 一般質問



かしわだ ただのり  
柏田 匡智 議員

## ◆40mmホース・管そうの配備を

町長 各分団の要望や本団との協議を基に計画的に配備を検討したい

し、現在の27個分団の構成としている。

また、災害などの現場で不足する消防力の補完を目的とした「機能別団員制度」を導入し、防災力向上に努めている。現在の機能別団員数は40名となっている。

### 質問要旨

今年度の春、倉石又重地区で2日連続の林野火災が発生した際、先着分団のタンク車は水利がない場所を踏まえ、配備されている中で一番細い50mmホースによる放水を開始した。延長する際、常備消防は40mmホースをつなげようとしたが、径が異なるため消火活動が遅延した実例がある。

### 質問③

常備消防・分団における40mmホース・管そうの配備状況・有用性は。

### 質問④

今後、車両備品の更新・購入の考え方は。

### 答 若宮町長

五戸消防署への聞き取りにおいては、40mmホースは放水量が少ないものの軽量であることから操作性に優れており、枯草・林野火災において活動効率を考慮しながら使用しているとのこと。しかし、消防団が普段使用している65mm・50mmホースと結合する際は、専用の媒介が必要となる。

### 答 若宮町長

常備消防や各分団との中継送水等の消火活動に不備が生じることがないように、災害現場での意見なども聴取するとともに、各分団からの要望や本団と協議しながら、車両備品についても計画的に更新・購入を検討していきたい。

### 質問①

分団の再編・機能別団員の現状は。

### 答 若宮町長

五戸町消防団再編計画に基づき、関係分団・自治会と協議を進め、第18・20分団を統合して浅水分団に、第22・23分団を統合して手倉橋分団と

### 答 若宮町長

定数570名に対して、実員数420名となっている。年齢層の比率は次のとおり。

年齢層比率	比率
10代	0.2%
20代	4.8%
30代	20.0%
40代	38.3%
50代	28.1%
60代	8.6%
平均年齢：46.0歳	

### 質問②

分団員の年齢層は。

このように常備消防と各分団とで車両備品に差異が生じていることで現場での作業効率が低下する場合があります。今後の車両備品更新・購入の考え方について質問する。

町が五戸町消防団に40mmホース・管そう・媒介を配備した実績はないが、各分団からの要望や本団と協議を基に、計画的に整備を検討していきたい。



©東京ハイジ/五戸町

### 用語解説

#### 機能別団員

能力や事情に応じて活動内容を限定する団員。自身の能力が生かせる現場に限定することでの災害対応能力の向上や、仕事をしながら無理のない範囲で活動ができることでの担い手確保が期待できる。

#### 常備消防

消防本部や消防署を指すもの。対して消防団は非常備消防と呼ばれる。

#### 管そう(管槍)

放水の際にホースの先端に付けるもの。

#### 水利(消防水利)

火災等において消防車両が利用する消防用水の供給設備の総称。主に消火栓や防火水槽がある。



12月定例会では5人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。



たかおく ひろあき  
高奥 浩明 議員

◆五戸町公式SNSの活用状況は

町長 「SNSごとの対象者と情報発信」という運用を模索している

どれも町内外を問わず五戸町に関心のある人を想定し、行政・イベント情報を週1回以上配信。今後「SNSごとの対象者と情報発信」(LINEは町内の人向け、等)が必要と考え、検討中。

町公式SNS	登録者数
Instagram (インスタグラム)	372名
Facebook (フェイスブック)	36名
X (エックス) ※旧Twitter(ツイッター)	192名
LINE (ライン)	110名

**質問①** 五戸町公式SNSの方針(目的、対象)と現状(発信数、内容、利用者数等)は。  
**答 若宮町長**

五戸町情報セキュリティポリシーにより個人情報漏えい等の事件が発生した場合は総務課長に報告することになっている。私が町長に就任してから現在まで、個人情報漏えい等が発生したという報告はない。

**質問①** 過去、五戸町における個人情報漏えいの有無は。  
**答 若宮町長**

個人情報保護法に特化した規程は整備中であり、現在は五戸町情報セキュリティポリシーにて対応。当該新たな規程は令和6年3月31日までに作成、4月1日から運用開始予定。

**質問②** 個人情報保護法に基づく安全管理措置のルール整備と運用は。  
**答 若宮町長**

町長 令和6年4月1日からの新たな規程運用を目指す

**◆個人情報保護法に基づく安全管理措置は**  
**質問②** ケーブルテレビ、防災無線等の予備通信手段としてのSNSの活用は。  
**答 若宮町長** 臨時的な代替手段としては有効と考えるが、現時点でSNSの機能や効果をすべて把握して活用できているわけではなく、今後検討を重ねる必要がある。

**質問②** 現在の木村秀政ホール内の展示物の取扱いは。  
**答 若宮町長** 展示物はみらいパーク施設内のエントランス

**質問①** リニューアルの計画と進捗は。  
**答 若宮町長** 令和2年度にニーズ調査を行い、子育て世代から「未就学児童を安心して遊ばせられる施設」という強い要望があった。これに基づいたリニューアルを、令和6年度中の完成を目指して進めている。令和6年6月頃までを目標に工事発注を行うスケジュールで調整中。

町長 来年度中の改修を目指す  
既存の展示物は施設内に展示予定

**◆木村秀政ホールの今後は**  
ホールに、書籍類は本館に木村秀政コーナーを設け展示する予定。引き続き木村秀政博士の功績に触れることができる機会を維持していきたい。



# 一般質問



とよた たかお 豊田 孝夫 議員

## 質問要旨

計画中の産直施設は町民の関心・期待が大きいと思われる。よって現在の進捗状況を問う。

## 質問①

産直施設の規模と建築費は。また、冷蔵庫、ショーケース等備品類は。

## 答若宮町長

事業用地を約15,000㎡、直売施設の建物面積上限を800㎡と設定。建物工事費上限は3億円、備品・什器・システム関係の導入費上限は1億円とする。備品関係は選定された運営候補者者(公募中)と協議する。

## ◆上市川地区に計画中の産直施設の進捗状況は

町長 公募中の運営候補者と細部を協議して進める

## 質問②

公募中の運営候補者の動向は。

## 答若宮町長

12月8日から運営候補者の募集を開始し、締切りを翌年1月22日としている。決定は2月2日を予定。

## 質問③

免税軽油申請時に、産直施設への農産物出荷のアンケート調査をしたが、集計結果は。

## 答若宮町長

102名の方から回答を得られた。結果は「出荷しても良い27%」「集荷してくれるなら出荷しても良い17%」であり、出荷可能性がある方は計44%だった。主な出荷作物は米、ながいも、ごぼう、にんにく等で、通年

で出荷可能と思われる。

## 質問④

産直施設のみならず、医療施設を誘致することだが、誘致に至った経緯は。

## 答若宮町長

令和4年夏ごろから診療所建設を検討中のコンサル会社から「県道20号線沿いに診療所建設を計画中だが、用地交渉中の地権者に断られた」と今年に入って連絡があった。本産直用地の地権者に説明し、産直実行委員会と協議を重ね、賛同が得られたので、上市川地区を、農業を維持発展していくための「食と健康の拠点」として位置づける方向としたい。

## 質問⑤

産直稼働後に発生するランニングコスト(光熱水費、修理・修繕)の算定はいかがか、また、その負担者は。

## 答若宮町長

執行中の実施設計にて建物の規模が確定することとそれらの算定が可能になる。収益施設部分は運営者の負担、公益施設部分及び施設の大規模修繕は町の負担とする予定である。

## ◆増加する空き家等の対策は

町長 対策計画を策定する予定

## 質問要旨

年々増加傾向にある空き家等の活用・対策について、実施された空き家調査の結果と併せて伺う。

## 質問①

空き家調査の期間、調査会社、調査結果は。

## 答若宮町長

業務委託契約先の(株)ズリン東北支社が、7月3日から8月4日まで町内全域を対象に実施。結果は空き家総数822軒、うち店舗併用住宅78軒。

## 質問③

空き家等の放置は防犯、防災上悪影響がある。その対策は。

## 答若宮町長

所有者意向調査結果を基に、五戸町空き家等対策計画策定協議会にて対策の指針を策定する予定。

## 質問④

現在空き家バンクの登録軒数は。また、問合せ件数の推移は。

## 答若宮町長

登録は9軒、問合せは11件。前年度より新規登録2軒の減、問合せ件数1件の増であった。



©東京ハイジ/五戸町

## 答若宮町長

総数は61軒、うち店舗併用住宅は5軒。



かわさき しちひろ  
川崎 七洋 議員

◆産直施設整備実行委員会に集まっている  
優秀な人財を大切にすべき

町長 今後も産直施設に関わっていただきたい

質問②

実行委員会のお名前を

拝見すると、今の五戸で

考えられるベストメンバー

であると思う。このメン

バーが考案した案が実現

するのであれば、産直施

設も心から応援できる。

しかしその中で突然「医

療施設を併設する」とい

う話が出てきた。これは

実行委員会も承諾してい

る話なのか。

答 若宮町長

医療施設の併設につい

ては確かに後から出てき

た話であるが、実行委員

会にも説明してご理解を

いただいている。説明の

タイミングが委員会の案

をまとめた時期と重なっ

たため委員会の皆様から

も様々ご意見があった

が、医療施設の必要性を

丁寧に説明し、ご理解い  
ただけたと考えている。

質問③

この実行委員会には現

代型の企画立案ができる

人財が集まっている。

施設の効果を最大化する

ために細部まで綿密に考

えられた計画に対し、後

から「これを追加したい」

という申出をしてしまっ

と全てが崩れてしまうお

それがある。実行委員会

の方々が困惑されたのは

想像に難くない。この

方々には今後も町づくり

に関与していただきたい

と思うが、今回の件に関

するケアなどはどのよう

に考えているか。

答 若宮町長

おっしゃるとおり今後

も様々な事業に関わって

いただきたいと思ってい

る。今回の医療施設の件

も様々な状況の変化から

決断したものであって、

その旨は説明させていた

だいた。産直施設は現在

運営者の公募中である

が、運営者決定後も実行

委員会の方々には何らか

の形で関わっていただ

き、産直施設の成功にご

協力いただきたいと思っ

ている。

◆青い森信用金庫跡地で  
旧・まちの駅構想の再考は

町長 凍結解除は考えないが…

質問①

先日「五之魂」という、

楽しみながら街づくり

取り組もうという町民活

動の会に参加したところ、

青い森信用金庫五戸支店

の跡地利用について役場

の若手職員からの案を聞

くことができた。旧・ま

ちの駅構想に近い案もあ

り、この会での評価はな

かなか良かったように感

じた。旧・まちの駅構想も

立地だけが問題であり、

機能面は町の人も求めて

いたように記憶している。

この銀行跡地で現在凍結

中のまちの駅構想を復活

させることはあるか。

答 若宮町長

まちの駅構想は、商店

街への人の流入、観光客

の増加、子育て世帯の相

互交流などを目的とした

施設である。現在の町の  
計画には木村秀政ホール  
のリノベーションがあ

り、子育て世帯の相互交

流ができる場所になる予

定である。銀行跡地にま

ちの駅を作ると、近い距

離で似た機能が置かれる

ことになるため、現実的

ではないと考えている。

要望

旧・まちの駅構想の際

には町民からたくさん

の意見をいただいていた。

あれから数年経つが、当

時要求されていた機能は

現在も求められているも

のがあると思う。改めて

当時の要望の棚卸しをし

て、まちの駅とは違う形

で要望に応じてもらうよ

うに、今後の計画・立案

をお願いしたい。



人という貴重な財産を、大切にしていきたい



# 一般質問

## ◆手話言語条例への取組は

町長 形骸化することのないよう総合的に取り組んでいる



鈴木 隆也 議員

### 質問①

五戸町において令和4年4月1日より、町としては県内2番目となる手話言語条例が施行された。条例を推進するための取組は。

### 答 若宮町長

地元の手話サークル「さくらの会」及び五戸町聴覚障害者の会をはじめとする関係団体等と連携し、次の3本の柱について取り組んでいる。

#### ①普及活動への事業支援

関係団体等により、町内教育機関への手話出前講座や町ケーブルテレビでの手話普及番組の制作、町内で開催される各種イベント等で手話普及啓発活動が行われており、このような普及活動への支援を行っている。

#### ②聴覚障がい者への支援

ろう者への手話通訳者派遣の負担支援。

#### ③人材育成

手話のスキルアップを目指す方が各種研修へ参

加する際の費用支援を実施。また、行政サービスで手話を使いやすい環境づくりのため、町職員に対する研修会を実施。今後もこれら取組を推進し、条例が形骸化しないよう総合的に取り組む。

### 質問②

役場入口にあるデファスリート佐々木琢磨さんの展示物を生かして、手話言語条例の認知度を高めるべきでは。

### 答 志村福祉課長

関係部局に情報提供を行って佐々木さんの奮闘が伝わる展示につなげた。また、それが手話の理解や普及のきっかけになることも期待したい。

五戸町において手話言語条例は令和4年4月1日から施行されています。条例の目的等は次の通りです。

(目的)  
手話が言語であると

の認識に基づき、地域において手話への理解及び普及を通じ、手話の使用しやすい環境の構築に関して、基本理念を定め、心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

#### (基本理念)

ろう者及びろう者以外の者が、相互に人格及び個性、特性を尊重しあいながら心豊かに共生することを基本として、ろう者の意思疎通を行う権利を尊重し手話の普及を図る。

#### (町の役割)

町は、手話及び手話に関わる者への理解を深め、ろう者があらゆる場面で手話を使用し、自立した日常生活や地域における社会参加をするための必要な施策を推進する。

#### (町民の役割)

町民は、基本理念に対する理解を深め、手話に関する町の施策に協力するよう努めるものとする。また、手話に対する理解の促進及び手話の普及に努めるものとする。

## ◆ふるさと納税の今後の課題は

町長 りんごなどの農産物に並ぶ、魅力ある返礼品の開発

### 質問①

ふるさと納税について、町が抱える問題点をどのように捉えているか。

### 質問②

増える寄附額に対する返礼品の確保をどのようにするのか。

### 答 若宮町長

ふるさと納税の制度が普及し、全国的に納税額が増加している。今後も寄附額が伸びることを想定した場合、寄附に対する返礼品の確保が問題となる。

### 答 若宮町長

昨年度の実績では、五戸町内で生産される農畜産物及びその加工品が返礼品の9割以上を占めている。今後も農畜産物が主力であることに変わりはないが、町内で製作される工芸品や工業製品等にも視野を広げ、新たな魅力ある返礼品の開発を進めたい。

### 意見

町内の石材店が墓守の役務を返礼品にしている面が白い。各事業者に、役務を返礼品にする働きかけをしてみたいか。

# 県外行政調査研修

今後の町政の発展に資するため、10月に各常任委員会にて県外行政調査研修を実施しました。

## 総務常任委員会

参加委員 委員長 中川原賢治 副委員長 柏田 匡智  
委員 高奥 浩明 委員 和田 智也  
委員 鈴木 隆也 委員 川村 浩昭

研修期間 令和5年10月18日～20日(3日間)

### 視察案件①

## 「安心・安全のまちナンバーワンを目指して」

人口32,134人(R 5.4.1 現在)、面積16.85km<sup>2</sup>の瑞穂町は、都心から西へ約40kmのところの位置する町です。横田基地、都内上位の出荷額を誇る製造業、見る者の心を癒す狭山丘陵と、様々な空間が混在しています。

### ◆視察内容

瑞穂町が掲げる「安心・安全のまちナンバーワンを目指して」という目標のもとに行われている、地震、土砂災害、航空機事故、火災といった想定される危機への対応体制構築について視察しました。



東京都  
瑞穂町



町内に基地がある、過去に土砂災害を経験しているという背景もあり、町全体に高い防災意識が根付いていると感じました。

瑞穂町では元自衛官の「危機管理官」を採用し、有事の際の指揮系統や、新庁舎設計への助言などにより、ハード・ソフトの両面で強固な体制が構築されていました。

消防団の広報・勧誘活動による若年層団員の確保や、防災関係団体・町民に加え病院施設とも連携した防災訓練など五戸町でも実践できる取組を伺うことができました。

### 視察案件②

## 「中学校運動部活動の今後の在り方」

人口24,234人(R 5.4.1 現在)、面積13.61km<sup>2</sup>の大口町は、愛知県北西部に位置し、名古屋市近郊地域でもありながら、恵まれた自然や田園地帯が広がることから、良好な環境の住宅地として魅力ある町です。

### ◆視察内容

教員の働き方の問題に端を発した、学校の運動部活動の指導を教師ではなく地域のクラブ指導者等が行う「地域移行」の取組について、大口町の中学校の事例を視察しました。



愛知県  
大口町



大口町も地域移行について試行錯誤中のようなのですが、中学校の運動部活動は勝利至上主義ではなく、運動を通じた人間形成を図る生涯学習の一環であるということを重視されていました。

大口町の地域移行は、地元スポーツクラブが運動部活動の一部種目に対して技術指導者を派遣する形でした。教員の配置は継続していて完全移行ではないものの、現行の制度面・安全面・教育的側面を満たしながら、競技未経験教員の負担軽減になっていました。全課題のクリアが困難なこの問題ですが、五戸町においても指針の一つと感じました。

## 経済常任委員会

参加委員 副委員長 大久保和夫  
委員 豊田 孝夫 委員 沢田 良一  
委員 三浦専治郎

研修期間 令和5年10月16日～18日(3日間)

### 視察案件①

#### 「自然と共にある農業の在り方」

人口20,128人(R5.4.1現在)、面積108.38km<sup>2</sup>の与謝野町は、京都府北西部の町で、日本三景「天橋立」の内海を宮津市と共有しています。五戸に里帰りしたDC351が展示されていた町でもあります。

#### ◆視察内容

化学肥料が川を通じて多く海に流れることで富栄養化につながってしまう。その化学肥料の低減化を図る「自然循環型農業」という、町の自然環境を守るために推進してきた取組を視察しました。



京都府  
与謝野町



京の豆っこ肥料は年間280トンから300トン製造されており、与謝野町の自然を守りながら地元の農業も支えています。

豆腐の製造で生じるおからを主原料とした有機質原料100%の「京の豆っこ肥料」が稲作等の生産に使われ、化学肥料の低減化を図っていました。また、その米は「京の豆っこ米」とブランド化され農業振興に寄与しています。この肥料を製造する加工場は町が建設しており、与謝野町の農業に掛ける意気込みを感じました。

### 視察案件②

#### 「食、でつながる地域の好循環」

人口12,876人(R5.4.1現在)、面積303.09km<sup>2</sup>の京丹波町は、京都府中央部に位置し、丹波高原や府内唯一の鍾乳洞等の自然を有する一方で京阪神など大都市圏への交通環境にも恵まれています。

#### ◆視察内容

人口の減少や高齢化に伴う町の活力低下という課題に対して行っている、京ブランド野菜・特産品を活用した農業の6次産業化の取組について視察しました。



京都府  
京丹波町



食を中心に、農業、製造、流通、販売、観光等様々な分野が連携して町の活性化を目指す総合的な取組について伺うことができました。

担い手不足・耕作放棄等が進行する中で、農業経営の安定化に向けて「食える農業」を確立するために、「丹波くり」等の特産品の生産面の支援はもちろん、新規就農者支援といった担い手確保の面、企業等と連携した販路拡大の面と、官民連携して多面的に地元産業の成長を図っていました。

## 民生常任委員会

参加委員 委員長 大沢 義之 副委員長 三浦 俊哉  
委員 川崎 七洋 委員 松山 泰治

研修期間 令和5年10月25日～27日(3日間)

### 視察案件①

## 「中高生が自由に過ごす新たな居場所」

人口28,205人(R5.4.1現在)、面積143.69km<sup>2</sup>の韮崎市は、山梨県の北西部に位置し、雄大な山々と甲斐武田氏ゆかりの史跡、そして住まう人々の生活文化とが調和する市です。

### ◆視察内容

活動・居場所の選択肢が減っている中高生の支援のため始動した「ミアキス」を視察し、他校生や大人との交流、やってみたいことを自由に挑戦できる場「ユースセンター」について伺いました。



中高生の挑戦をサポートするミアキス。利用者の声をもとに整備された設備を見学し、子どもの健全な成長を願う熱意溢れる様々な取組についてのお話を聞きました。

子どもの自主性を育むのはもちろん、子どもの意思を尊重できるよう大人や社会環境への働きかけも行うユースワークの考え方や、ミアキスの「チャレンジする大人の姿を見せる」というポリシーを伺いました。

また、子ども達が地元への愛着心や次の世代につなげようという心を持つことも期待でき、首都圏への若者の流出が激しい地方こそ見習うべき取組でした。



山梨県  
韮崎市

### 視察案件②

## 「地域で行う子育て」

人口37,654人(R5.4.1現在)、面積15.33km<sup>2</sup>の三芳町は、埼玉県南部、首都圏30kmに位置する町である一方、古くから長期間にわたり純農村地帯として営まれてきた自然豊かな町です。

### ◆視察内容

子育て支援を希望する保護者と、支援をしたい地域の人とをマッチングし、地域で子育てを行う仕組み「ファミリー・サポート・センター」について伺いました。



時代を経て家族形態が変化する中で、昼夜問わず子育てに取り組む保護者を直接的に手助けする重要な事業。コロナ禍等、社会情勢の変化で新たな課題もある中、検討を重ねて取り組まれていました。

有償ボランティアとして、幼稚園、学童保育、習い事などの送迎とその前後の預かりや、病児・宿泊を含む一時預かりも行い、地域で子育てを支援するもの。

日常の「少しの間、子どもを見てほしい」という場面はもちろん、「たまには夜ゆっくり寝たい」という場面での保護者のリフレッシュとしても有効な取組だと感じました。



埼玉県  
三芳町

# 所管事務調査

町政の課題把握・解決に向けて、各常任委員会が管轄する分野の取組についての調査を行いました。

## 総務常任委員会

委員長 中川原賢治  
委員 和田 智也

副委員長 柏田 匡智  
委員 鈴木 隆也

委員 高奥 浩明  
委員 川村 浩昭

令和5年11月22日実施

### ◆DC351展示施設建設の進捗状況を調査

ごのへ郷土館に展示中のDC351を今後長期保存し、より魅力を高めるためのプラットホーム建設の進捗状況を伺いました。施行内容を確認し、また、当初の予定より早期完成の見込みとのことでした。実際に12月16日には完成記念イベントが行われました。

### ◆みらいパーク施設の管理状況と今後の計画の調査

みらいパークを視察し、図書館の管理状況や、行われている各種イベント等の取組について伺いました。

また、木村秀政ホールの子育て世代の交流スペースへの改修については、工事発注スケジュールや、木村秀政氏の資料の再展示について伺いました。



雨や雪から車体を守り、展示物としての魅力も高めます



子ども達が遊び、保護者同士の交流も生まれるスペースへ

## 経済常任委員会

委員長 古田 陸夫  
委員 豊田 孝夫

副委員長 大久保和夫  
委員 沢田 良一

委員 三浦専治郎

令和5年10月30日実施

### ◆上市川産直施設進捗状況等を調査

用地に係る諸手続きの進捗、活用する国の補助金の採択状況、及び今後のスケジュールを伺いました。

### ◆五戸東地区中山間地域総合整備事業を調査

豊間内、川内等における農業用排水施設、農道等の整備状況について現地調査しました。

### ◆獣害被害地（豊川地区）を調査

クマ等による農作物への被害があった現場を視察し、その後の対策（わな設置状況・保有数、警戒パトロール状況等）について伺いました。

### ◆ひばり野公園整備事業を調査

今年までに整備された新築トイレ、園内遊具・ローラー滑り台、及び今後行われるクレイテニスコートの改修の内容について伺いました。



テニスコート改修工事は令和6年3月末までに完了予定



## 民生常任委員会

委員長 大沢 義之  
委員 川崎 七洋

委員 尾形 裕之

委員 松山 泰治

令和5年9月29日実施

### ◆ごのへユースセンターを視察

商店街の空き店舗を活用して令和4年7月から始まったごのへユースセンターを視察しました。中高生等の学校・家庭以外の第3の居場所で、様々な人との出会いを通じた学び・チャレンジができる拠点です。

実際の活動や、継続に向けた課題等を伺いました。

### ◆五戸総合病院の取組を調査

五戸総合病院の事業・取組について、特に不足する医師の確保に関する取組のお話を伺いました。

転職活動が増える10月以降により積極的にオファーを行う、五戸町・五戸総合病院の魅力を伝えるPR資料などについて聞くことができました。



次世代が町に根付くことにもつながる重要な取組です



厳しい状況下でも奮闘する様子が伺えました

# 第17期五戸町議会4年間の主な出来事

令和2年2月29日

第17期五戸町議会が始動。



三浦 専治郎 議員が議長、沢田 良一 議員が副議長となる。

令和2年5月

全国で新型コロナウイルス感染症が流行。

議場各席の前・両側にパーテーションを設置し、感染対策を行いながらの五戸町議会がスタートした。(令和5年1月臨時会まで設置)



令和4年3月

町として県内2番目の施行となる手話言語条例を可決。

令和4年6月

令和6年1月1日以後告示される一般選挙から、五戸町議会議員定数を16人から14人とする議会案を可決。

### 令和5年3月

五戸町議会議員と教育委員会との意見交換会を開催。



### 令和5年6月

五戸町議会議員補欠選挙により、  
高奥 浩明 氏が当選し、議員16名となる。



### 令和5年7月

五戸町議会議員と五戸地方建設業協会との意見交換会を開催。

### 令和5年9月

五戸町議会議員と五戸町商工会との意見交換会を開催。



### 令和6年2月28日

第17期五戸町議会議員任期満了となる。

## 五戸町議会議員一般選挙投開票日 令和6年2月18日(日)

五戸町議会議員一般選挙結果比較

	前々回	前 回	今 回
議員任期	平成28年2月29日 ∩ 令和2年2月28日	令和2年2月29日 ∩ 令和6年2月28日	令和6年2月29日 ∩ 令和10年2月28日
投開票日	平成28年2月21日	令和2年2月16日	令和6年2月18日
告示日	平成28年2月16日	令和2年2月11日	令和6年2月13日
議員定数	18人	16人	14人
立候補者数	21人	17人	告示日に判明
有権者数	15,640人	14,976人	約14,000人
投票率	67.69%	58.50%	開票後に判明
トップ当選者得票数	829票	722票	開票後に判明

## 三戸郡町村議会議員研修会

令和5年11月2日、三戸町において三戸郡内の町村議会議員が集まる三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は12人が出席しました。

**講演** 「V I S I Tはちのへの役割と広域観光について」  
**講師** V I S I Tはちのへ 事務局次長 木村 聡 氏



## 第28回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

令和5年11月9日、八戸市において八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟主催による勉強会が開催され、五戸町議会議員は11人が出席しました。

**講演** 「G7仙台科学技術大臣会合出展 移動型緊急手術室ドクターカーV3について」  
**講師** 八戸工業大学 工学部工学科 准教授 浅川 拓克 氏  
 八戸市立市民病院 病院事業管理者 今 明秀 氏



## 編集後記

今年度は五戸町議会議員の選挙の年です。4年に一度は必ず受けなければならぬ洗練であり、4年サイクルはオリンピックと同じで、オリンピックのある年が五戸町にあつては選挙の年になります。もう4年経ったのか、ついこの間選挙だった気がしています。

例えば、時間が経つのもとても早くなった気がします。一説には、「時間÷年齢」の数式が成り立つとか。例えば同じ1時間でも1歳の子供は1分の1だが、70歳の方は70分の1でしかない、時の経つのが早いはずですね。

今回の選挙から議員定数が14人になります。また、選挙費用の一部公費負担も始まりましたので、多くの方々の立候補をお待ちしております。

副委員長 豊田 孝夫

## 議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月8日開会予定です。  
 詳しくは議会事務局まで  
**TEL 62-2111 (代表)**  
 日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」  
 五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和6年4月発行予定です。

発行責任者  
 議長 三浦 專治郎  
 令和6年1月26日発行

委員長	川崎 七洋
副委員長	豊田 孝夫
委員	和田 智也
委員	和智 也
委員	柏田 匡智
委員	鈴木 隆也
委員	大久保 和夫

## 広報常任委員会